



15th International Congress of  
**Therapeutic Drug Monitoring  
& Clinical Toxicology**  
KYOTO, JAPAN September 24-27, 2017



第15回 国際TDM&CT学会学術大会のお知らせ  
～ Expansion and Evolution of Precision Medicine ～  
大会長 谷川原 祐介

第15回国際 TDM&CT 学会学術大会(IATDMCT Congress 2017)は、2017年9月24日～27日(本会議)、28日(ポスト・コンGRESS会議)の会期で国立京都国際会館にて開催いたします。第34回日本 TDM 学会・学術大会(9月23-24日)と連続開催となり、9月24日(日)は両学会の合同セッションと合同懇親会を企画します。

本学会のメインテーマである Precision Medicine は今や世界の潮流となりました。薬物による生体曝露(薬物濃度)に基づいて治療的薬理学を論じる TDM と毒性学を論じる CT (Clinical Toxicology) は、いわば表裏の関係にあります。本学会は、薬物濃度測定と言う定量分析基盤に基づいて薬物作用の光と影の両面を研究し討議します。29年ぶりの日本開催となる IATDMCT Congress へ日本 TDM 学会会員の多くの皆さまの参加をお待ちしております。

まず、本学術大会で発表あるいは参加するメリットを列記します。

- TDM と CT 領域の世界の動向と最新の知識を得ることができます。
- 皆さまの研究成果・臨床業務を世界に向けて発信する機会です。
- 「国際学会発表」という輝かしい業績を加える絶好の機会です。
- 新しい友人をつくり国際ネットワークを拓ける機会になります。
- 企業展示会場では新技術・新製品の最新情報を得ることができます。

本学術大会は、薬物分析、臨床薬理学、臨床毒性学などの専門家、臨床医、薬剤師、臨床検査技師など多彩な顔ぶれが世界約50か国から参集する国際学会です。北米・欧州・アジアなどにおける TDM と CT の現状を知り、日本のアクティビティを世界に向けて発信しましょう。

発表演題申し込みおよび参加登録はすでに始まっていますので、皆さまのご参加とご発表を心よりお待ちしております。発表申込と参加登録、プログラム・演者などの各種情報提供はすべて学術大会のホームページにより行います。

<http://www.iatdmct2017.jp/>

## 【発表演題の申込み】

学術大会ホームページ (<http://www.iatdmct2017.jp/abstracts.html>) よりお申込みください。受付締め切りは2月28日ですが、若干延長する可能性があります。また、締め切り後に新たに得られた新規知見を含む発表は”Late-Breaking Abstract”として追加公募します。

発表形式は原則としてポスター発表です。プログラム委員会の選考により、一部を口頭発表に振り分けます。もしポスター発表形式のみ希望する場合は演題登録時に指定すれば口頭発表にはなりません。全演題のなかで非常に優れた内容と選考された演題は、該当する領域のシンポジウムに組み込まれます。

採択通知は4月30日までに届けられます。採択された演題の発表者は、5月31日までに参加登録費を支払い、参加登録を完了しなければなりません。

抄録は英語で記述し、350ワード以内でMicrosoft Wordによって作成してください。抄録には、Background、Methods、Results、Conclusions、Keywordsの要素を含めてください。演題登録時に2種類のカテゴリーから該当するものを選びます。Category A：研究対象薬物の疾患領域を選択します。

### 1. Anti-Infective Drugs



### 2. Anticonvulsant Drugs



### 3. Cardiovascular Drugs



### 4. Central Nervous System Drugs



### 5. Immunosuppressive Drugs



### 6. Oncologic and Immuno-Oncologic Drugs



### 7. Toxicant, Pesticide, Designer Drugs



### 8. Other

Category B：研究の目的あるいは研究領域を選択します。

### 1. Alternative Sampling Strategies

- 2. Assays
- 3. Clinical Toxicology
- 4. Drug Abuse
- 5. Individualized Dosing
- 6. New Biomarkers
- 7. Pharmacogenetics
- 8. Pharmacokinetics
- 9. Pharmacometrics, Modeling & Simulation
- 10. PK/PD, Concentration-Response Relationship
- 11. Special Populations
- 12. TDM Practice
- 13. Other

前向き研究、後ろ向き研究、介入研究、観察研究、症例報告、基礎研究のいずれでも発表することができます。新しい知見を含む TDM の症例報告は「12. TDM Practice」のカテゴリーで登録してください。

### 【参加登録】

IATDMCT Congress での発表・聴講には参加登録が必要です。参加登録費には早期割引、会員割引、若手割引、学生割引の各特典を設けていますので詳細は学術大会ホームページでご確認ください。

<http://www.iatdmct2017.jp/registration.html>

Category	IATDMCT/JSTDM regular member *1	IATDMCT/JSTDM Young Scientist / Junior member*2	Student*3	Non-member*4
Early Bird Registration (Until June 30, 2017)	JPY60,000	JPY30,000	JPY30,000	JPY80,000
Advanced Registration (Until August 31, 2017)	JPY70,000	JPY35,000	JPY35,000	JPY90,000
On-site Registration	JPY80,000	JPY40,000	JPY40,000	JPY100,000

- 1) IATDMCT 会員または日本 TDM 学会(JSTDM)会員を対象とする割引参加費
- 2) IATDMCT 会員または日本 TDM 学会(JSTDM)会員で 40 歳以下の若手会員を対象とする割引参加費
- 3) フルタイム学生（学部学生、大学院生）に適応する学生料金。非会員でも対象とするが、社会人大学院生は適応対象外。申し込む際は、写真付の学生証コピーと所属大学が発行した在籍証明書（英文）を添付する。
- 4) 非会員の参加登録費

#### ポイント 1 会員はお得

IATDMCT 会員または日本 TDM 学会会員は参加登録費が安いので、学術大会参加申し込み時に併せて入会手続きされることをお奨めします。新規入会の手続きは下記を参照してください。

IATDMCT: <https://www.iatdmct.org/member-join>

IATDMCT の年会費は 120 US ドルです。40 歳以下は 80 US ドル、30 歳以下は 30 US ドルです。

日本 TDM 学会: <http://jstdm.umin.jp/about/tdmnyukai.html>

日本 TDM 学会の年会費は 8000 円、学生会員は 3000 円です。

#### ポイント 2 Student Presentation Grant

フルタイム学生（学部学生、大学院生）が発表者として演題発表する場合、運営委員会の審査によって参加登録費が全額返金されます。すなわち、限られた予算の範囲内ではありますが、学生は参加費無料で参加・発表できる道が開かれています。

### 👉 ポイント3 早期割引制度

上記1から4のすべてのカテゴリーにおいて早期割引制度を設けています。早くに参加登録するほど安い料金で参加できます。

Early Bird Registration	早期割引料金 (6月30日までの申込み)
Advanced Registration	事前登録料金 (8月31日までの申込み)
On-site Registration	当日参加登録の料金 (会場での支払い)

### 👉 ポイント4 Single Day Congress Registration Fee (1日参加料金)

業務などの都合により1日しか参加できない方のために設けたものです。いずれの日も適用できますが、1日しか参加できません。

会 員	事前登録	35,000 円	、	当日参加	40,000 円
非会員	事前登録	45,000 円	、	当日参加	50,000 円

本学術大会の参加登録費は国際学会としてのグローバル基準に準拠しています。しかしながら、運営委員会の努力により前回ロッテルダム大会(2015)、前々回ソルトレイクシティ大会(2013)より安めに設定しました。加えて、各種の割引特典を設けることによって、なるべく多くの方々に参加していただくように配慮しています。

### 【ポスト・コンGRESS会議】

9月28日(木)には、同じ会場(国立京都国際会館)にてポスト・コンGRESS会議を開催します。テーマは「TDM ガイドライン」を取り上げ、各種疾患領域における世界のTDMガイドラインを発表し、議論します。現在、IATDMCTで作成作業中の「抗がん薬TDMガイドライン案」が初めて公開されます。

このポスト・コンGRESS会議は学術大会には含まれず別の会議となるため、参加登録は別途必要です。一方で、ポスト・コンGRESS会議だけの参加も可能です。

#### ポスト・コンGRESS会議 参加登録費

Category	IATDMCT / Affiliate member	Young Scientists/Junior member/Student	Non-member
Early Bird Registration (Until June 30, 2017)	JPY6,000	JPY4,000	JPY15,000
Advanced Registration (Until August 31, 2017)	JPY8,000	JPY5,000	JPY20,000

On-site Registration	JPY10,000	JPY6,000	JPY30,000
----------------------	-----------	----------	-----------

こちらにも、学術大会同様に、会員割引、若手割引、早期割引制度を設定しています。  
日本 TDM 学会会員は **Affiliate member** として会員価格で参加できます。

### 【Round-table discussion】

IATDMCT の伝統的企画です。少人数の参加者が TDM や CT の専門家一人を囲んで日頃の疑問をぶつけて質問したり、研究する上でのコツを直接伝授してもらえる機会です。学術大会期間中に、朝食をとりながら議論します。朝食費用込みで一人あたりの参加費は 2000 円です。テーマと講師は決まり次第、ホームページ上に掲示しますので、この機会に世界の専門家と直接に会話してみませんか。

## 【Congress Dinner】

IATDMCT Congress 2017 の懇親会です。9月26日（火）に開催します。国際交流、海外からの参加者へのおもてなし、そして新しい友人をつくり国際ネットワークを拓げるために是非ともご参加ください。IATDMCT の懇親会は堅苦しい挨拶はなく、カジュアルでリラックスした且つフレンドリーな雰囲気で行われます。参考のために前回ロッテルダム大会の写真を掲載します。きっと忘れられない素晴らしい思い出の1ページとなることでしょう。



## 【Welcome Reception】

初日(9月24日(日))のオープニング・セレモニーに引き続いて Welcome Reception を催します。ドリンクと軽いおつまみが出て参加者間で自由におしゃべりする時間です。今年は第34回日本TDM学会学術大会と合同で行います。IATDMCT Congress 参加者は参加費無料で参加できますが、日本TDM学会学術大会のみに参加する人は別途参加費が必要です。

## 【Wine & Cheese Reception】

IATDMCT Congress の伝統として、2日目夕方(9月25日(月))に開催するイベントです。IATDMCT Congress 参加者は参加費無料で参加できます。展示会場でワインを片手にチーズをつまみながら仲間とおしゃべりする時間です。日本開催ですから、日本各地の自慢の地酒を並べようかと考えています。全国の会員の皆様からのご支援・ご寄附をお願い致します。

以上ご紹介してきましたように、IATDMCT Congress 2017 in Kyoto は学術面でも国際交流面でも通常では得がたい貴重な機会です。日本TDM学会会員の皆さまには、どうかこの機会を逃さず、多くの方々に参加していただき充実した国際学会を経験していただきたく、心よりお待ちしております。